



学校だより 春休み号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

伝統と創造

～緑園東小学校のすばらしさ～

校長 副島 江理子

3月17日(金)に、第27回卒業証書授与式が行われ、無事に66名の卒業生が巣立っていきました。ご兄弟、ご親族も含め、保護者の皆様をはじめ、多くの地域・来賓の皆様にご列席を賜り、大変光栄に存じます。卒業生も門出をたくさんの方々から祝っていただき、一層晴れやかな気持ちだったことと思います。

卒業式に先立つ3月11日(土)にPTA「一人一役」活動として校内清掃が行われました。土曜日の午前中という時間帯にも関わらず、前回にも増して多くの保護者の皆様にご参加いただき、一人ひとりの靴箱や傘立て、昇降口の側溝、流し等、細かいところまで丁寧に清掃をしていただきました。お陰様で、6年生をきれいな校舎から見送ることができました。年々、保護者様の数も減る中で、たくさんの方々にご参加いただけたことに感謝の思いでいっぱいでございます。また、卒業式準備で学校が慌ただしくしている中、栽培ボランティアの方々が、来年度用にどらちゃん畑を整えてくださいました。本当にありがとうございました。

「ありがとう6年生の会」は、今年もまた、6年生の優しい思いやりと下級生の6年生に対する信頼と憧れの気持ちが体育館いっぱいに広がった素晴らしい会となりました。6年生の圧倒的な存在感や見事な歌とパフォーマンスを目の当たりにして、きっと5年生は来年度への自分たちへの期待を大きくもったことでしょう。卒業式当日のお別れ式では、どの学年の代表児童も「6年生が支えてくれた」「6年生がいたから安心だった」と、たくさんの感謝の言葉を、心を込めて6年生に伝えました。

このように、緑園東小学校の子どもたちは、年々、6年生がリードして全校児童が仲良く、よりよい学校生活をめざすようになってきています。そして、6年生への信頼が大きく揺るがないものになってきています。「伝統と創造」ーこれは開校以来初めての2クラスとなった今年度の6年生の学年テーマでした。子どもたち自身が、6年生を中心に全校でよりよい学校をつくっていくことの意義を十分にわかっており、6年生は、見事に最高学年としての責任を果たして卒業していきました。

卒業式が終わりバトンは5年生へと引き継がれました。「なかよし活動」や「ありがとう6年生の会」で、5年生は在校生代表となって運営をすることで、最高学年となる自覚を高めてきました。学校では6年生が卒業して、寂しさが漂っていますが、新6年生が中心となって全学年が力を合わせて活動することで、また「思いやりと信頼」の伝統が引き継がれていくことでしょう。そして、より楽しく豊かな学校生活を子どもたち自身が「創造」していくことを願っています。

来年度も、自分の課題を明確にして、主体的に学習や活動に取り組むこと、自分の思いも相手の思いも大切に、互いに認め合う子どもたちを育てることに一層の力を注いでまいりたいと思います。

春休みは短いですが、学年が一つ上がることを意識して、心が大きく成長する「魔法の10日間」でもあります。4月に登校してくる子どもたちの笑顔をお待ちしております。

あたたかく子どもたちを支えてくださる、素晴らしい保護者、地域の方々がいるからこそ、本校の「伝統」が引き継がれ、また新たな「創造」をしていくことができます。本年度、本校の学校教育活動に多大なるご支援とご理解を賜りましたことを心より御礼申し上げます。一年間、ありがとうございました。